

令和3年度 第1回 銚子市国民健康保険事業の運営に関する協議会 開催結果

1 当該協議会の開催について

(1) 開催日時

令和3年8月26日（木）～9月13日（月）

(2) 開催方法について

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、緊急事態宣言が発令され、本市においても急速に感染者が増加していることから、当該協議会を書面開催とした。

2 議題

(1) 審議事項

会長及び副会長の選出について

・審議結果・・・委員全員が賛成し、原案可決

(2) 報告事項

ア 令和2年度銚子市国民健康保険事業特別会計決算見込みについて

イ その他

3 議題についての質疑等

別紙のとおり

○ 議題1 会長及び副会長の選出について

- ・質疑等なし

○ 議題2(1) 令和2年度銚子市国民健康保険事業特別会計決算見込みについて

(質問1)

国民健康保険料における滞納繰越分の現況について伺いたい。

(回答1)

令和3年度に繰り越す令和2年度分国民健康保険料（現年分）の滞納繰越金は、調定額の減少及び収納率の向上に伴い、前年度に比べ16,661,009円減少しました。また、令和元年度以前の滞納繰越金は、収納率が23.70%から27.85%に上昇したため、13,937,756円減少しました。

不納欠損額は93,474,558円で、前年度に比べ14,813,313円減少しました。

国民健康保険事業特別会計

年度	区分	予算額 円	調定額 円	収入済額 円	不納欠損額 円	滞納繰越金 円	還付未済額 円
R01	国民健康保険料	1,918,816,000	2,292,779,018	1,857,312,958	108,287,871	328,035,459	857,270
	現年分	1,852,195,000	1,948,280,400	1,775,625,451	0	173,481,549	826,600
	滞納繰越分	66,621,000	344,498,618	81,687,507	108,287,871	154,553,910	30,670
R02	国民健康保険料	1,819,199,000	2,119,847,459	1,729,945,452	93,474,558	297,436,694	1,009,245
	現年分	1,745,644,000	1,795,401,100	1,639,520,760	0	156,820,540	940,200
	滞納繰越分	73,555,000	324,446,359	90,424,692	93,474,558	140,616,154	69,045

(質問2)

人間ドック等の助成について、利用者の職業・年齢の割合について伺いたい。

(回答2)

令和2年度における人間ドック等の助成受給者328人のうち、年齢構成については表のとおり。
なお、職業については、把握しておりません。

年齢	35～39歳	40～44歳	45～49歳	50～54歳	55～59歳	60～64歳	65～69歳	70～74歳	計
人数	4人	9人	5人	10人	23人	59人	117人	101人	328人
構成比	1.2%	2.7%	1.5%	3.1%	7.0%	18.0%	35.7%	30.8%	100.0%

(質問3)

令和2年度決算見込みの中で前年度と比較して大幅に増減した科目について、増減理由を説明していただきたい。

(回答3)

令和2年度決算見込みの中で前年度と比較して大幅に減額した科目の決算額、増減理由等については、次のとおりです。

(歳入)

【単位 千円】

款	令和2年度決算見込額	令和元年度決算額	比較
1 国民健康保険料	1,729,946	1,857,313	△ 127,367
一般被保険者国民健康保険料	1,729,839	1,855,504	△ 125,665

(主な減少理由)

人口減少や高齢化に伴う後期高齢者医療保険制度への移行などによる国保加入世帯及び加入者の減少(資料集6ページ参照)、令和元年の台風などの影響による所得の減少、新型コロナウイルス感染症の影響により、収入が減少した被保険者に対する保険料減免などによるものです。

※保険料収納率は上昇しましたが、調定額の減少が大きく影響し、収入額は減少となりました。

【単位 千円】

款	令和2年度決算見込額	令和元年度決算額	比較
6 県支出金	5,126,874	5,346,384	△ 219,510
保険給付費等交付金(普通交付金)	5,020,025	5,237,811	△ 217,786

(主な減少理由)

保険給付費等交付金(普通交付金)は、市が医療機関に支払う医療給付等の額に対し、県から交付されるもので、歳出の保険給付費の減少に伴い、減少したものです。

(歳出)

【単位 千円】

款	令和2年度決算見込額	令和元年度決算額	比較
2 保険給付費	5,056,273	5,282,680	△ 226,407
療養給付費	4,334,461	4,538,416	△ 203,955

(主な減少理由)

人口減少や高齢化に伴う後期高齢者医療保険制度への移行などによる被保険者数の減少によるものです。

【単位 千円】

款	令和2年度決算見込額	令和元年度決算額	比 較
3 国民健康保険事業費納付金	2,224,300	2,282,868	△ 58,568
医療給付費分	1,478,386	1,500,799	△ 22,413
後期高齢者支援金等分	525,698	562,116	△ 36,418

(主な減少理由)

県が県内各市町村の納付金を算定する際に用いる、県全体の保険給付費や後期高齢者支援金等が減少したことに伴い、本市の納付金（医療給付費分及び後期高齢者支援金等分）も減少したものです。

【単位 千円】

款	令和2年度決算見込額	令和元年度決算額	比 較
6 保 健 事 業 費	62,355	78,916	△ 16,561

(主な減少理由)

新型コロナウイルス感染症の影響により、6月に実施を予定していた集団健診（15日間）を中止したことなどに伴い、減少したものです。

○ 議題2(2) その他

(質問4)

保険料の見直しについて、4方式のうち、資産割の廃止がありますが、実施した場合の保険料の影響について伺いたい。

(回答4)

実施した場合の保険料の影響については、令和3年度当初賦課調定で試算したところ、約7～8千万円の減収となる見込みです。

(質問5)

保険料の見直しについて、資産割を廃止される場合は歳入欠損が生じますが、いかなる方向でその欠損を埋めていこうとされているのか、大まかな方向性を伺いたい。

(回答5)

資産割廃止の検討にあたっては、すべての被保険者に賦課される医療給付費分及び後期高齢者支援金と40歳から64歳までの被保険者に賦課される介護納付金分のバランスを含め、適正な賦課割合となるように調整を図りたいと考えています。

なお、新型コロナウイルス感染症の影響及び11月下旬に示される令和4年度納付金（仮数値）を踏まえ、保険料率の見直し実施の可否を含め検討する予定です。

また、保険料の適正な賦課、被保険者の所得の把握並びに徴収強化による収納対策を実施し財源の確保に努めていきます。

(質問6)

新型コロナウイルス感染症に関連して、PCR、抗原検査について、厚生労働省等から、何か特別な指示等はあるのでしょうか。

さらに、冬季になって、インフルエンザの流行に対し、検査回数等の制限をなくすような施策、最近ではRSウイルス感染での年齢制限をなくす等の施策はいかがでしょうか、何か検討はありますでしょうか。

(回答6)

現在のところ、新型コロナウイルス感染症に関連して、PCR、抗原検査について、厚生労働省等から特別な指示等はありません。

また、検査回数等の制限や年齢制限をなくす等についても、現在のところ検討しておりません。